

# アメリカ合衆国は 先ず、長崎・広島に原爆を投下したことを謝罪せよ！ 先ず、日本各地への無差別空爆を謝罪せよ！



安らかに眠ってください  
過ちは繰り返しませんから。

## 【英文直訳】

米国は、原子爆弾を1945年8月6日広島に、同年8月9日長崎に投下しました。一瞬にして広島では約14万の人々が、長崎では7万以上の人々が命を落としました。米国は、一般市民の住むド真中に邪悪な原子爆弾を落としたのです。その後、数倍にも及び原爆被爆者が生まれ、今日まで戦後62年間、その原爆症に苦しみ続けているのです。原爆投下のひどさ、無残さを筆舌に表わすことなど到底出来るものではありません。米国民は、この日本国民の苦痛を知っているのでしょうか！！ 原爆投下は人類に対する犯罪です。ここに「ハーグ陸戦条約」から抜粋した条文をいくつか紹介してみましょう。

陸戦条約の第22条には「害敵手段ノ選択ニ付、無制限ノ権利ヲ有スルモノニ非ズ。」とあります。第23条には「不必要ノ苦痛ヲ与フヘキ兵器、投射物其ノ他ノ物質ヲ使用スルコト」と特別禁止事項と規定され、第25条には「防守セザル都市、村落、住宅又ハ建物ハ、如何ナル手段ニ依ルモ、之ヲ攻撃又ハ砲撃スルコトヲ得ズ。」と明記され、更に第27条には「攻囲及砲撃ヲ為スニ当リテハ、宗教、技芸、学術及慈善ノ用ニ供セラルル建物、歴史上ノ記念建造物、病院並病者及傷者ノ収容所ハ、同時ニ軍事上ノ目的ニ使用セラレザル限、之ヲシテ成ルベク損害ヲ免レシムル為、必要ナル一切ノ手段ヲ執ルベキモノトス。」とあります。

これでお分かりでしょう。米国は、「ハーグ陸戦条約」の禁止事項の全てに違反しています。アメリカは国際法上明らかな違反行為をしているのです。

繰り返しますが、原爆投下は人類に対する犯罪です。無差別爆撃やホロコースト同様人権擁護を完全に無視しています。更に、大都市から64都市を無差別爆撃し90万人を殺しています。このような国際法違反も歴史上ありません。国際法に大きく違反している米国は、慰安婦問題で日本に謝罪を求める前に、先ず日本に謝罪すべきなのです。米国が日本占領後にまず真っ先にした事、それは米兵のための慰安所の建設でした。そのために多くの日本人婦女子が集められ売春をさせられたのです。慰安婦問題で我々に謝罪を求める前に、まず謝罪すべきはアメリカなのです！ 我々日本人は、まず米国政府に謝罪を求めます。

我々は、国際法の完全無視、2度に亘る原爆投下という、人類に対する犯罪を犯した米国政府へ、先ず謝罪を求めます。

## 参加議員（太字；9/3参加検討）

福岡市議会議員	高山博光	東京都議会議員	土屋敬之
東京都議会議員	古賀俊昭	元鎌倉市議会議員	伊藤玲子
千葉市議会議員	穴倉清蔵	多賀城市議会議員	中村善吉
日野市議会議員	渡辺 眞	岸和田市議会議員	稲田悦治
大分市議会議員	三浦由紀	船橋市議会議員	中村 実
柏市議会議員	上橋 泉	呉市議会議員	岡崎源太郎
大田区議会議員	犬伏秀一	前町田市議会議員	大西宣也
前神戸市議会議員	向山好一	荒川区議会議員	小坂英二
柏崎市議会議員	三井田孝欧	八王子市議会議員	近藤 充
伊勢原市議員	添田隆晴	西脇市議会議員	藤原 教
廿日市市議会議員	角田俊司	川崎市議会議員	松原成文
岩国市議会議員	石本 崇	越前市議会議員	北野光夫
久喜市議会議員	鈴木松蔵	岡山県議会議員	波多洋治
桐生市議会議員	西牧秀乗		



米国に長崎広島原爆投下の謝罪を求める  
地方議員と市民の会  
代表 福岡市議会議員 高山博光

事務局 『MASUKI情報デスク』 増木重夫  
〒565-0874 大阪府吹田市古江台2-10-13-3F  
TEL 090-3710-4815 FAX 06-6835-097  
<http://mid.parfe.jp/kannyo/hirosimanagasaki/top.htm>

支援カンパ 振込先 郵便振替口座 00980-8-245547 口座名称 MASUKI情報デスク  
備考欄に「原爆謝罪の会」とご記入下さい